

戦略の位置づけ

○大阪府・市で世界的な創造都市の実現に向けた観光・国際交流・文化・スポーツ分野の共通の戦略として策定

次期戦略策定の目的

- 大阪府・市ではこれまでから都市魅力創造戦略に基づき、一体となり各種プロジェクトを着実に推進することで、大阪の賑わいを創出
- 2025年大阪・関西万博(以下、大阪・関西万博)の発信力やインパクトを生かし、都市魅力の更なる向上を図っている
- 大阪・関西万博終了後も、その賑わいを一過性のものに終わらせることなく、万博のレガシーを大阪の更なる賑わいへとつなげていくため、アフター万博を見据えた大阪の都市魅力推進に向けた方向性を打ち出す必要
- 次期戦略において、大阪が目指す都市魅力の将来像を見据えつつ、2026年度から2030年度までの5か年における取組みの方向性を示す
- 本戦略が示す方向性に基づき、大阪府・大阪市のみならず、住民や事業者、府内市町村等の大阪の都市魅力向上に関わる多様な主体が行動することで、国内外からヒト・モノ・投資を呼び込む、“エキサイティング都市・大阪(仮)”を実現

基本方針

①大阪ならではの魅力の創出・発信

大阪・関西万博のインパクトを活用した都市魅力の創造・発信に向けた取組を継承・発展させ、大阪が持つ食や歴史、文化・芸術、スポーツ、エンターテインメントなどの強みをさらに磨き上げることで、大阪でしか体験できない魅力を創出・発信し、国内外からのより一層の集客・滞在を図る

②既存資源の高付加価値化

大阪の魅力をより多彩なものにするため、ラグジュアリーな体験の提供やナイトエンターテインメントの充実、既存の資源をテーマで結ぶことによる新たな楽しみ方の創出など、大阪の既存資源が持つ価値やポテンシャルの最大化に取り組むとともに、多様なニーズやターゲットに応じた戦略的なプロモーションを展開する

③誰もが(皆が)楽しめる持続可能な都市

将来にわたってすべての人が安全・安心で快適に滞在を楽しむことができるとともに、住民が大阪に誇りや愛着を感じ、来阪をおすすめしたくなる都市を実現する

（仮称）「エキサイティング都市・大阪」の実現

（参考）現計画基本方針

大阪・関西万博の
インパクトを生かした
都市魅力の創造・発信

安全・安心で
持続可能な魅力ある
都市の実現

多様な主体が連携し、
大阪全体を活性化

KPI（案）

基本方針の進捗を図る指標として、以下の項目をKPIとして検討

□KPI項目(案)

○量を測る指標

ex. 来阪外国人旅行者数、大阪府内の延べ宿泊者数 など

○質を計る指標 ※現戦略のKPIにはない新しい観点

ex. 観光消費額、平均滞在日数 など

○受け入れる住民側の指標 ※現戦略のKPIにはない新しい観点

ex. 府民による来阪推奨度

（参考）現計画 進捗管理

○指標

日本人延べ宿泊者数〔大阪〕
来阪外国人旅行者数